

平成28年度行政事業レビューシート (復興庁)

事業名	被災者支援総合交付金			担当部局	復興庁		作成責任者			
事業開始年度	平成27年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	統括官付参事官(被災者支援班)		参事官 清田 浩史			
会計区分	東日本大震災復興特別会計									
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	被災者支援(健康・生活支援)総合対策(27年1月23日) 被災者支援総合交付金実施要綱(28年4月1日)					
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	被災者支援については、震災から5年が経過し、避難生活の長期化や災害公営住宅等への移転など、復興の進展に伴う課題への対応が必要となっている。28年度は、被災者健康・生活支援総合交付金を大幅に拡充し、被災者の生活再建のステージに応じた、切れ目ない支援の実現を図る。									
事業概要 (5行程度以内。別添可)	別添のとおり。									
実施方法	交付									
予算額・執行額 (単位:百万円)		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求				
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	5,889	22,034	22,034			
		補正予算	-	-	1	-				
		前年度から繰越し	-	-	-	-				
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-				
		予備費等	-	-	-	-				
	計	0	0	5,890	22,034	22,034				
	執行額	-	-	5,051						
執行率(%)	-	-	86%							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 年度	目標最終年度 32年度	
	平成32年度までに、現在、見守り等支援の対象となっている約60,000世帯について、相談員等の見守り等により、具体的な支援が必要なくなった世帯数を28,000世帯以上とする。	相談員等の見守り等により、具体的な支援が必要なくなった世帯数 ※ 目標値については、今後、事業の実施状況を精査の上、必要な見直しを行う。		成果実績			3,522			
				目標値					28,000	
				達成度	%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度	
	子育てイベントの参加人数を72,000人以上とする。	子育てイベントの参加人数(27年度の成果実績は集計中)		成果実績			72,000			
				目標値						
				達成度	%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度	
	親を亡くした子ども等への心身のケア巡回相談を1,248回以上、実施する。	巡回事業実施回数(27年度の成果実績は集計中)		成果実績			1,248			
				目標値						
				達成度	%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 年度	目標最終年度 32年度	
	平成32年度までに、福島県の肥満傾向児の出現率における全国1位となる年齢の数を震災前の平成22年度の数まで引き下げる。※実績は1以下で達成度100とする。	福島県の子供のこころの健康度の肥満傾向児の出現率全国1位となる年齢数		成果実績	個	5	6	0	-	-
				目標値	個	1	1	1	-	1
				達成度	%	20	16.7	100	-	-
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 年度	目標最終年度 32年度	
	平成32年度までに、福島県の子供のこころの健康度を日本被災していない地域の子供のこころの健康度まで引き下げる。※27年度実績については調査中のため未記載	福島県の子供のこころの健康度		成果実績	%	14.2	14.2	-	-	-
				目標値	%	9.5	9.5	9.5	-	9.5
				達成度	%	66.9	66.9	-	-	-
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載								<input checked="" type="checkbox"/> チェック		

活動指標及び活動実績		活動指標		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	相談員等による見守り実施回数 ※ 活動に係る当初見込みについては、事業の実施状況を精査の上、必要な見直しを行う。(平成27年度の活動実績は集計中)	活動実績		回				
		当初見込み		回			300,000	300,000
活動指標及び活動実績		活動指標		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	子育てイベントの開催実施回数 (平成27年度の活動実績は集計中)	活動実績		回				
		当初見込み		回			480	
活動指標及び活動実績		活動指標		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	「福島県の子供たちを対象とする自然体験・交流活動支援事業」に参加した子供の人数	活動実績		人			83,638	
		当初見込み		人			82,202	79,400
活動指標及び活動実績		活動指標		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	個別訪問による健康支援の実施件数(延べ)	活動実績		件	63,742	36,321	37,430	-
		当初見込み		件	80,034	63,742	36,321	-
単位当たりコスト		算出根拠		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込
単位当たりコスト	交付金(22,034百万円)の内数/ 相談員等による見守り実施回数	単位当たりコスト		円			7,700	
		計算式		/			2311百万円/ 300,000	
単位当たりコスト		算出根拠		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込
単位当たりコスト	交付金(22,034百万円)の内数/巡回実施回数(親を亡くした子ども等への相談・援助事業) (平成27年度について集計中)	単位当たりコスト						
		計算式		/				
単位当たりコスト		算出根拠		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込
単位当たりコスト	交付金(22,034百万円)の内数/参加した子供の数(福島県の子供たちを対象とする自然体験・交流活動支援事業)	単位当たりコスト		円			3,874	4,081
		計算式		/			324百万円/ 83,638	324百万円/79,400
単位当たりコスト		算出根拠		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込
単位当たりコスト	X:当該年度執行額(千円)/Y:個別訪問による健康支援の実施件数	単位当たりコスト		千円	-	27.5	10.7	-
		計算式		X/Y	-	1,000,000/36,321	404,033/37,430	-
平成28・29年度予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由				
	被災者支援総合交付金	22,034	22,034					
	計	22,034	22,034					

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策		復興施策の推進											
	施策		(1)復興支援に係る施策の推進											
	政策評価	測定指標	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 年度	目標年度 32年度				
			見守り等の支援対象約60,000世帯のうち、具体的な支援が必要なくなった世帯数を28,000世帯以上とする。	実績値										
				目標値									28,000	
			定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 年度	目標年度 年度				
			子育てイベントの参加人数 (平成27年度の実績値について集計中)	実績値				108,057						
				目標値					72,000					
			定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 年度	目標年度 年度				
			親を亡くした子ども等への心身のケア巡回相談を1,248回以上、実施する。 (平成27年度の実績値について集計中)	実績値				805						
目標値							1,248	1,248						
定量的指標				単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 年度	目標年度 32年度					
福島県の肥満傾向児の出現率全国1位となる年齢数	実績値	個	5	6	0	-	-							
	目標値	個	1	1	1	-	1							
定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 年度	目標年度 32年度							
福島県の子供のこころの健康度 ※平成27年度実績については調査中のため未記載	実績値	%	14.2	14.2	-	-	-							
	目標値	%	9.5	9.5	9.5	-	9.5							
本事業の成果と上位施策・測定指標との関係														
避難生活の長期化や、災害公営住宅等への移転による被災者の分散化など、復興のステージに対応し、被災自治体が直面する課題・ニーズに的確に対応し、効果的な被災者支援活動を実施できるよう、2省の事業を一括化し、一本の事業計画で申請・採択することにより支援。														
アクション・財政再生プログラム	改革項目	分野:	-											
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 年度	27年度	28年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度					
		成果実績	-	-	-	-	-	-	-					
		目標値	-	-	-	-	-	-	-					
	(第二階層) KPI	KPI (第二階層)		単位	計画開始時 年度	27年度	28年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度					
		成果実績	-	-	-	-	-	-	-					
		目標値	-	-	-	-	-	-	-					
		達成度	%											

事業所管部局による点検・改善			
項目		評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○ 避難生活の長期化、被災者の居住地域の分散化が見込まれる中、見守り等の被災者支援は重要な課題。被災地全体で支援活動の充実を図ることが必要であり、国費投入が必要。また、総理指示の「被災者支援の総合対策」に基づく事業であり、優先度は高い。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○ 避難生活の長期化、被災者の居住地域の分散化が見込まれる中、見守り等の被災者支援は重要な課題。被災地全体で支援活動の充実を図ることが必要であり、国費投入が必要。また、総理指示の「被災者支援の総合対策」に基づく事業であり、優先度は高い。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○ 避難生活の長期化、被災者の居住地域の分散化が見込まれる中、見守り等の被災者支援は重要な課題。被災地全体で支援活動の充実を図ることが必要であり、国費投入が必要。また、総理指示の「被災者支援の総合対策」に基づく事業であり、優先度は高い。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-
	<input type="checkbox"/> 一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。		
	<input type="checkbox"/> 競争性のない随意契約となったものはないか。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○ 事業実施の必要性や事業の効率性について、交付担当省庁にて事業計画の内容を精査しており、単位当たりコストは妥当なものとなっている。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○ 事業実施の必要性や事業の効率性について、交付担当省庁にて事業計画の内容を精査しており、費用・用途は事業目的に即し必要なものとなっている。
事業の有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。		-
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		-
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○ 事業の手段・方法等について、交付担当省庁にて事業計画の内容を精査しており、効果的に実施されている。
関連事業	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		
	所管府省・部局名	事業番号	事業名
点検・改善結果	点検結果	特に問題となる点はない。	
	改善の方向性	引き続き被災地法公共団体の要望を丁寧に関わり、適切な執行に努めていく。	

外部有識者の所見

被災者に寄り添った、より効果的な執行に努めること。

行政事業レビュー推進チームの所見

現状通り

被災者支援の観点から復興に資する必要性の高い事業であり、引き続き効率性に留意しつつ予算の執行を進めること。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

現状通り

事業の目的である被災者の生活再建の達成に向け、引き続き効率的・効果的な予算の執行に努めていく。

備考

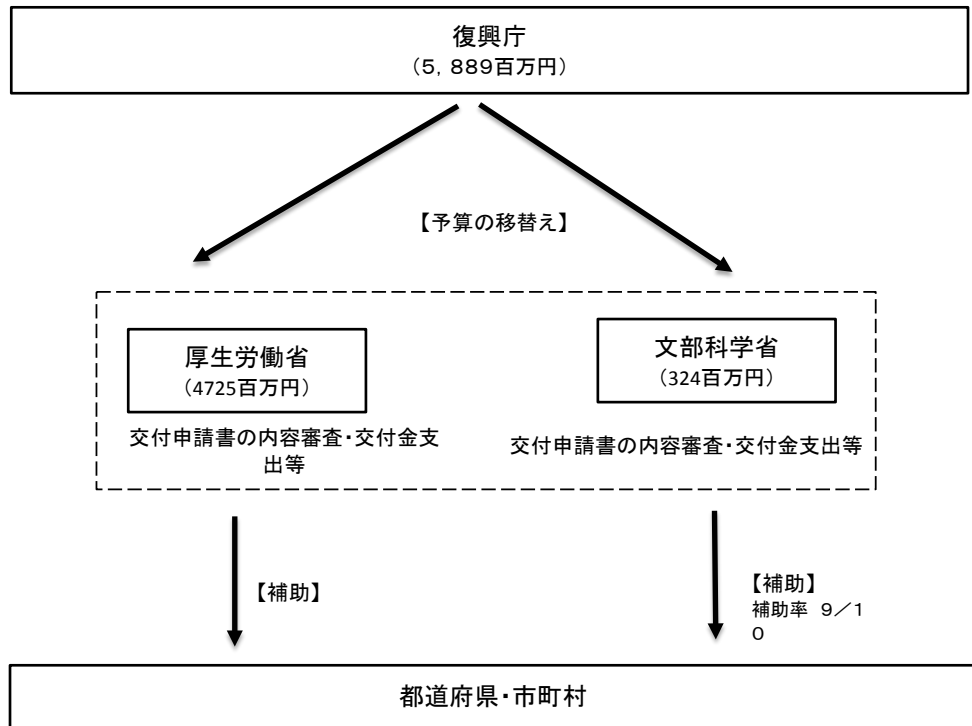
関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-	[X]
平成25年度	-	平成26年度	-	平成27年度	27-0001	

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

【細部実績については集計中】

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)



【事業計画の策定、事業の実施】

- ①地域コミュニティ活動を活用した被災者生活支援事業
- ②被災した子どもの健康・生活対策等総合支援事業
- ③福島県の子供たちを対象とする自然体験・交流活動支援事業

事業概要	<p>○地域コミュニティ活動を活用した被災者生活支援事業 生活支援相談員の配置や、地域コミュニティ活動の活性化等を通して、孤立防止の見守りなど被災者の日常生活を支援する。</p> <p>○被災した子どもの健康・生活対策等総合支援事業 子どものいる家庭等への訪問による心身の健康に関する相談・支援、遊具の設置や子どもの心身のケアなど、被災した子どもへの総合的な支援を実施する。</p> <p>○福島県の子供たちを対象とする自然体験・交流活動支援事業 福島県内の子供を対象に、学校等が実施する自然体験活動や県外の子供たちとの交流活動を支援する。</p>
------	--

成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	/	単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 年度	目標最終年度 32年度
	平成32年度に被災自治体からの保健師派遣要望に対する充足率を100%まで引き上げる	被災自治体からの保健師派遣要望に対する充足率		成果実績	%	-	-	-	-
		目標値	%	-	-	-	-	-	100
		達成度	%	-	-	-	-	-	-
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	/	単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度
				成果実績					
		目標値							
		達成度	%						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	/	単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度
				成果実績					
		目標値							
		達成度	%						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	/	単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度
				成果実績					
		目標値							
		達成度	%						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	/	単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度
				成果実績					
		目標値							
		達成度	%						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	/	単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度
				成果実績					
		目標値							
		達成度	%						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	/	単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度
				成果実績					
		目標値							
		達成度	%						